

1.2 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

※2015年度から採用した項目です。

手術後に、手術部位感染（Surgical Site Infection：SSI）が発生すると、入院期間が延長し、入院医療費が有意に増大します。SSIを予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があり、手術開始から終了後2～3時間まで、血中および組織中の抗菌薬濃度を適切に保つことで、SSIを予防できる可能性が高くなります。このため、手術執刀開始の1時間以内に、適切な抗菌薬を静注することで、SSIを予防し、入院期間の延長や医療費の増大を抑えることができると考えられています。より高い値が望ましい。

調査実施日	特定術式の手術件数	術式ごとの適切な 予防抗菌薬が選択 された手術件数	停止率
2022年01月	31	31	100.0%
2022年02月	22	22	100.0%
2022年03月	33	32	97.0%
2022年04月	31	31	100.0%
2022年05月	30	30	100.0%
2022年06月	30	30	100.0%
2022年07月	27	27	100.0%
2022年08月	37	36	97.3%
2022年09月	33	33	100.0%
2022年10月	29	29	100.0%
2022年11月	29	29	100.0%
2022年12月	41	41	100.0%
2023年01月	39	39	100.0%
2023年02月	36	36	100.0%
2023年03月	30	30	100.0%
2023年04月	32	32	100.0%
2023年05月	36	36	100.0%
2023年06月	30	30	100.0%
2023年07月	25	25	100.0%
2023年08月	37	37	100.0%
2023年09月	38	38	100.0%
2023年10月	33	33	100.0%
2023年11月	31	31	100.0%
2023年12月	33	33	100.0%

（参考）QI推進事業参加病院の平均値

2017年度 86.5%（前年比+4.3）
 2018年度 88.2%（前年比+1.7）
 2019年度 83.4%（前年比△4.8）
 2020年度 89.4%（前年比+6.0）
 2021年度 90.9%（前年比+1.5）
 2022年度 92.4%（前年比+1.5）